

年頭にあたり謹んでご挨拶を申し上げます。

昨年を振り返りますと全国で地震や台風が発生したなか、北海道でも9月6日に北海道胆振東部地震が発生し全道で継続した停電の被害を受けることになりました。自家発電により診療を継続した施設も多数あり、水と電気を必要とする透析の施設では全道で切迫した状況での対応を迫られたと思います。災害時の情報共有として当会のメーリングリストを利用して施設情報を募り情報収集に努めましたが、道内すべての施設が被災した状況のなか、多忙の中情報提供にご協力いただきました施設にはお礼申し上げます。今後は災害対策マニュアルによる災害時の当会对応を検討しております。マニュアル運用時には皆様のご協力が必要となりますのでよろしくお願い申し上げます。

予てから、お伝えしています支部制導入についてですが、いよいよ導入予定の2020年が来年となりました。

1988年の団体設立より現在1200名を超える会員を有する団体となり、北海道で従事する臨床工学技士がまとまり、道内全域に当会事業を浸透させ理解していただくために支部制の導入を進めております。

各支部での事業遂行のためにはより多くの会員の皆様のご協力が必要となりますのでよろしくお願い申し上げます。

本年の第30回北海道臨床工学会は、11月30日より2日間開催の記念大会として催す予定ですので多数のご参加と演題登録をお待ちしております。

今後の事業としては、手術室業務指針（仮名）の作成、WEB上でのカンファレンス、災害対策マニュアル運用開始など、新たな取り組みによる当会の発展と皆様への事業提供を計画しております。

そして、当会が職能団体として今後も発展できるよう、未来の臨床工学技士が安心して従事できるように、継続した努力と、これまでの積み重ねを重んじ執行部一同最大限尽力する所存ですので、皆様にはご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

おわりに、本年が皆様にとって実り多い年になることを、心より祈念いたします。

平成三十一年一月一日
公益社団法人 北海道臨床工学技士会
会長 大宮裕樹